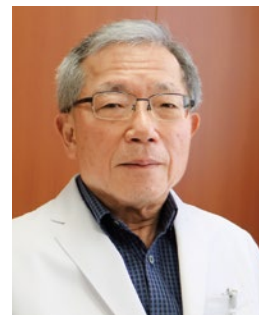




## 就任のご挨拶

4月から副センター長兼病院長に就任しました。四季折々の変化に富む自然に囲まれた広大な敷地に立地する中伊豆リハビリテーションセンターに勤務して4年目となります。現在2階、3階病棟合わせて90名以上の回復期の患者様が入院していますが、脳血管疾患の患者様が約9割です。脳の病巣の部位と大きさにより症状が大きく異なりますが、運動障害、認知機能障害、摂食嚥下障害が主な障害となります。それぞれ専門の訓練士が機能の回復にあたります。限られた期限内で最大の回復効果を上げられるように医師、看護師、訓練士が定期的に検討会を行い、回復状況に合わせた治療方針を決定します。その他、当センターで行っている特徴のある取組みについて、ホームページでご紹介しておりますので、是非ご覧下さい。

脳血管疾患は日本人の死因の第3位（平成29年：第1位悪性新生物、第2位心疾患）です。実はそれまで肺炎が第3位でしたが、誤嚥性肺炎が肺炎から分離したため老衰に次いで第5位となり、誤嚥性肺炎単独は第7位を占めています。誤嚥性肺炎は、高齢者や脳の病気などで嚥下機能の低下がある場合、唾液や食べ物が誤って気道に入って発症します。70歳以上の肺炎では誤嚥性肺炎が80%を占めます。嚥下障害の症状として、物を飲み込みにくい、口から食べ物がこぼれたり、口の中に残ったりする、食べるのに時間がかかる、飲み込んだ後でむせたり咳き込んだりするなどがあります。嚥下機能を検査するには、嚥下造影（レントゲン）や内視鏡があり、いずれも当センター外来で行っています。誤嚥性肺炎の予防として、口腔内を清潔に保つ（歯科で指導）、嚥下反射を改善する（言語聴覚士が指導）、食事の姿勢の配慮（言語聴覚士、看護師が指導）、食事内容の配慮（言語聴覚士、管理栄養士が指導）などまだまだ多くありますが、当センターでは医師、歯科医師をはじめとする多職種によるチームで取り組んでいます。健康寿命を延ばすため、当センターまでお気軽にお問い合わせください。



病院長  
吉野 邦英  
よしの くにひで



中伊豆リハビリテーションセンター主催

## 体験型地域医療講演会のお知らせ

医療・リハビリテーションの視点から全6回の講演会(3講演を2回)を実施いたします。講演会では皆様に実技や模擬体験をしていただいたり、実際にスタッフから具体的な助言・指導をお伝えさせていただく時間を設けております。皆様お誘い合わせの上、是非ご参加ください!!

### 第1回講演 「明日からはじめるウォーキング」

伊豆市開催 日時:6月29日(土)14:00~16:00 場所:伊豆市生きいきプラザ **終了**

伊東市開催 日時:9月8日(日)14:00~16:00 場所:伊東市健康福祉センター **延期での開催**

### 第2回講演 「運転寿命の延伸にむけて ~住み慣れた街で長く運転するために~」

伊豆市開催 日時:8月25日(日)14:00~16:00 場所:伊豆市生きいきプラザ

伊東市開催 日時:9月22日(日)14:00~16:00 場所:伊東市健康福祉センター

### 第3回講演 ①「誤嚥性肺炎のおはなし」 ②「人はなぜムセるのか? ~飲みこみのしくみ~」

伊豆市開催 日時:10月27日(日)14:00~16:00 場所:伊豆市生きいきプラザ

伊東市開催 日時:11月24日(日)14:00~16:00 場所:伊東市健康福祉センター

参加料 / 無料 予約 / 不要

問い合わせ / 地域連携推進部 0558-83-2111 加納・菊池

ホームページ <http://www.janrc.or.jp/news/index.html>



# 安全に楽しく食べるためのご案内

中伊豆リハビリテーションセンターでは、患者様が食事を楽しく、安全に食べることができる様に、摂食・嚥下障害の診断から治療・予防・フォローアップまで一貫して取り組み、その最大の特徴は多職種によるチームアプローチでトータルケアを実施しています。

えんげ

## 摂食・嚥下外来

医師・歯科医師・看護師・管理栄養士・  
言語聴覚士立会いによる  
飲み込みの検査(嚥下造影検査・内視鏡検査)



摂食・嚥下障害看護認定看護師  
による摂食嚥下訓練



嚥下造影検査



飲み込みの訓練



ペースト食(再形成)



軟菜一口大食



常菜食

- ・摂食機能訓練
- ・訓練プログラムの作成と適切な  
食事形態の検討

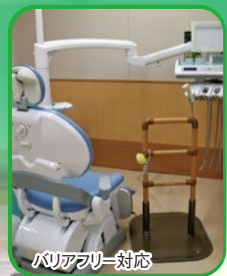
## 言語聴覚療法

～リハビリテーションによる専門的アプローチ～

## 歯科

～自分の歯で噛めるように～

- ・虫歯治療
- ・義歯作成
- ・口腔ケア



バリアフリー対応



細かい部分までケア  
できるような小さいブラシを  
使用しています



泡立ちにくいジェル状歯磨剤を使用しています



自助具を使った食事



リクライニング食事介助

摂食時の介助方法や姿勢・食形態などを確認し、  
嚥下障害の改善を目指します。

## 看護

～安全に口から摂取する事を支援します～

摂食、嚥下に関するお問い合わせ先:地域連携課 0558-83-2115

編集  
発行

社会福祉法人  
農協共済中伊豆リハビリテーションセンター

〒410-2507静岡県伊豆市冷川1523-108 TEL.0558-83-2111(広報委員会)

中伊豆リハビリテーションセンター

発行日 令和元年8月15日

